

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

令和7年度第3回（第56回）合同会議議事概要

| | |
|---------|---|
| 開催日及び場所 | 令和8年2月13日（金）中央合同庁舎第8号館 623会議室 |
| 委員 | 委員長 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明※ （横浜国立大学大学院国際社会科学研究院国際社会科学部門教授） 委員 市毛 由美子 （弁護士） 委員 金井 睦美 （公認会計士） 委員 寺田 麻佑 （一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授） ※ 当番委員 |
| 議事 | ○第55回会議審議案件の持越しに係る審議 ○令和7年度第2四半期の契約に係る審議 |

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| ○第55回会議審議案件の持越しに係る審議 | | |
| 【一般競争入札】 最低価格落札方式 | （内閣府）1件 （関心事項） ・落札率が高く、1者応札 になった理由 | 契約件名：令和7年度緊急事態応急対策等拠点施設等における運営支援業務 契約相手：東芝ITサービス（株） 契約金額：143,484,000円 契約日：令和7年4月1日 担当部局：政策統括官（原子力防災担当） |
| 意見・質問 | | 回答 |
| 1者応札となった理由について確認したい。 | | 参考見積もりは2者から徴取していたところ、結果として1者応札となった。 理由としては、応札のなかった事業者において、今年度に関しては業務実施の体制が確保できないため辞退するということであった。 |
| 特に専門性の高い業務と思われるが、調達方式が妥当であるか確認したい。 | | 専門性が高いと思われる業務を除くなどの対応は行っただけで、公募に応じてもらえないか声かけを行っているところ。次年度については参加者確認公募を実施し、競争入札とするか随意契約とするか選択するなど検討を行っていきたい。 |
| 委員会による意見の 具申又は勧告の内容 | なし | |

| | | |
|----------------------|--|--|
| ○令和7年度第2四半期の契約に係る審議 | | |
| 審議対象期間 | 令和7年7月1日～令和7年9月30日 | |
| 対象案件の説明 | ○対象期間における契約件数（内閣官房53件・内閣法制局0件・内閣府本府172件）について事務局から説明 ○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・落札率が低くなった案件について、その理由、予定価格の妥当性及び履行状況を確認する。 ・入札者数が多かった案件について、特別な取り組みを行ったのか確認する。 ・再委託について、業務の主要部分を委託していると思われるが、その適切性について確認する。 | |
| 審議抽出案件 | 3件 | |
| 【一般競争入札】 最低価格落札方式 | （内閣府）1件 （関心事項） ・落札率が低くなっている理由 及び履行状況 ・入札者数が多い理由 | 契約件名：津波避難ビル・タワー等に関する調査とりまとめ業務 契約相手：（株）サーベイリサーチセンター 契約金額：671,000円 契約日：令和7年7月28日 担当部局：政策統括官（防災担当） |
| 【一般競争入札】 総合評価落札方式 | （内閣府）1件 （関心事項） ・落札率が低くなっている理由 ・技術点における競争が働いていないように見受けられるが、その後の履行状況 ・再委託先において、適切な労務管理が行われているか。 | 契約件名：令和7年度 新総合防災情報システム（SOBO WEB）のデータ活用による訓練実施促進に向けた調査検討業務 契約相手：デロイトトーマツコンサルティング合同会社 契約金額：123,200,000円 契約日：令和7年8月22日 担当部局：政策統括官（防災担当） |

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| <p>【一般競争入札】 総合評価落札方式</p> | <p>(内閣府) 1件 (関心事項) ・落札率が低くなっている理由 ・技術点における競争が働いていないように見受けられるが、その後の履行状況</p> | <p>契約件名：「新たな国際標準戦略」に基づく標準活用促進のための調査分析業務 契約相手：(株) PEGASUS HOLDINGS 契約金額：5,500,000円 契約日：令和7年8月20日 担当部局：知的財産戦略推進事務局</p> |
| <p>委員からの意見・質問 それに対する回答等</p> | <p>別紙のとおり</p> | |
| <p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p> | <p>なし</p> | |

| |
|-------------|
| <p>○その他</p> |
| <p>-</p> |

| 意見・質問 | 回答 |
|--|--|
| 1 津波避難ビル・タワー等に関する調査とりまとめ業務 | |
| 落札率が低くなっている理由及び履行状況を確認したい。また、応札者数が多いのは何か特別なことをされたのか確認をしたい。 | 低入札に係る確認をしたところ、過去の実績の知見を活用することにより、効率的に業務実施が可能であると事業者が判断し、低価格の応札になったと聞いている。履行状況については、所定の成果物が提出され、業務は適切に完了していることを確認している。また、応札者数について特段のことはしていない。 |
| 本件では実地の現地調査は行わないようだが、それで事業の目的は達成されるのか。また、仕様書の作成にあたり、業務段階ごとに専門性などのレベル感や、求められる達成度をより具体的に記載する方が、事業者が入札価格をより適正に積算できるのではないかと。 | 現地調査がなくとも、自治体からの回答によって調査の一定の品質は確保されたと考えている。 本件は過去の報告書が公表されているため、応札する事業者はそういったものも参考にしていただろうが、重要な指摘なので引き続き検討していきたい。 |
| 2 令和7年度 新総合防災情報システム (SOBO WEB) のデータ活用による訓練実施促進に向けた調査検討業務 | |
| 落札率が低くなっている理由及び履行状況を確認したい。 | 当初、手作業によるデータ作成を想定していたところ、落札事業者は再委託先の大学研究室のシミュレーションを活用することで、想定していた膨大な手作業を大幅に削減することができたため、低価格で入札が可能となったと承知している。履行状況については、作成中のデータはSOBO-WEB上で問題なく表示・利用できており、被害想定にも沿った内容で、現時点では履行に問題はないと確認している。 |
| 再委託である大学の研究室のシステムについて、信頼性に問題はないか。 | 内閣府の総合科学技術・イノベーション会議によるSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)事業でつくったシステムということであるため、一定の信頼は確保されているものと考えている。 |
| 学生を雇用するに当たり労務管理は適切に行われているのか。また、著作権や機密保持の点で問題は生じないか。 | 大学側に、このような場合の学生の就労を管理するスキームがあり、それを使っていると承知している。 著作権と機密保持に関しては、大学と学生との労務契約の中に、明記されている。 |
| 今回この大学の研究室のシステムを使用したことで、将来同様の調達を行う際に何か影響が出てしまうことはないか。 | 本件のデータ作成については、このシステムでなければできないものではないため、そのようなことはないと考えます。 |
| 3 「新たな国際標準戦略」に基づく標準活用促進のための調査分析業務 | |
| 担当部局が所用により委員会出席が困難となったため、審議は次回委員会へ持ち越しとなった。 | |
| ○その他 | |
| - | |